

決勝進出倶楽部

平成27年6月23日(火) 参加倶楽部数22／通過倶楽部数4



1位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース／296ストローク



2位 岡部チサンカントリークラブ／297ストローク



3位 津久井湖ゴルフ倶楽部／300ストローク



4位 秦野カントリークラブ／301ストローク



左から。立川国際ccの榎本支配人、佐藤大会長。



練習は天然芝の上から。



グリーンは11フィート。

3 立川国際カントリー倶楽部 草花コース 決勝進出の4倶楽部が5打差内にひしめく大接戦

増玉・東京・神奈川

立川国際カントリー倶楽部は東京都の西郊に位置し、昨年開場55周年(昭和34年開場)を迎えた、都内唯一の36ホールを有する倶楽部です。

そのひとつ「草花コース」で東京・神奈川・埼玉の22倶楽部、総勢132名の選手と多くのギャラリーをお迎えし、競技は盛大に開催されました。

今回のブロック大会は1年ほど前から開催の連絡を受け、その時から準備が始まりました。芝生は1年がかりで取りかかっても、思うような仕上がりは容易ではありません。プレーヤーに公平で、スムーズな競技進行ができるよう、スタッフ全員で意見を交しながらフェアウェイ・ラフの整備に創意工夫を重ね準備してきました。

また練習場ではマットの上でなく、直接、芝生からボールを打つもらう打席を用意すること。ギャラリーの皆様に安全に応援していただけるよう、スタッフの配置や観戦エリアの整備にも配慮し、事故の防止にも努めてまいりました。

今年の4月は日照不足が続く、一転、5月は降雨量が極端に少なく、ある場所では芝生が赤く焼け、毎日散水に追われる不安な日々を過ごしましたが、6月に入りやつと、滋雨があり、胸を撫で下ろすことができました。

競技当日の天候は晴れ、気温27・3度、微風、グリーンの上り高3・2ミ、ステインブメータ計測11ミ、コンパクション13という、選手の皆様に十分にパフォーマンスを発揮していただけるコンディションを、連日の懸命なコース整備により実現できました。

開場56年日の36ホールは
6月の“滋雨”で完全復調。
晴天微風のもとに22倶楽部が集結。



開催倶楽部、立川国際CCの代表選手と関係者。